

### 在 流

五十嵐舟

僕たちは日本で生まれたが日本人ではない。  
生まれた国は故郷なのか、育った場所も故郷と呼んでいいものなのか、未だに答はわからない。  
それはこの生まれた国が僕たちへの扱いに対する疑問が残り続けているからかもしれない。  
いつの間にかK・POPも韓国ドラマもこの国の日常になっていた。韓国アイドルや「韓流」という言葉はあっても、在日アイドルや「在流」という言葉はない。存在が見えているのに見ていないフリをされている。  
こんな扱いをしてくる日本と母国であろう韓国との狭間で息を吸う。  
歌がうまいあの人も、いつまでもイケメンのあの人や女優のこの人も皆、在日韓国人のはずなのにその事を口にせず日本人として生きているのはなぜだろう。  
日本人に帰化している裏には在日韓国人というのが不利だからとしか言えない。  
まるで秘密にして生きなければいけない様に見えた。僕たちは間違っ生まれてきたと思わせる。世に出る芸能人たちが、声を上げて胸を張って在日の血が流れている事を発表してくれていれば何か変わっていたかもしれないと思うのは僕だけだろうか。  
選挙権も手にできたかもしれないし、韓国との仲も今より良くなっていたかもしれない。かもしれないという想いばかりが頭に浮かんでしまった。  
様々な国の血縁関係が増え現代で在日何世という言葉はこの国で浸透しているかもしれないし、学んでもいない背景には日本が植民地支配してきたひどい過去を知られたくないからだろうか。もっと日本の学場で取り上げてもらいたいものだ。皆にも知識があれば、これからの僕たちは胸を張れるかもしれない。  
どこの国の方ですか？  
そう聞かれたら、「在流です」と答えたい。  
在日外国人の私流派なんて言ったら格好よく聞こえるから。アメリカやヨーロッパと日本のハーフは格好よいイメージなのに、僕たちは肩身が狭い想いをしなきゃならないのかわからない。  
だから在日は我が道を歩いていく私流がよい。「在流」という言葉が主流になり辞書に載る日が来れば、日本の在日に対しての雰囲気も変わるのだろうか。  
これは、もし私が「在流」の僕だったからと私の視線と目線で書かせていただきました。